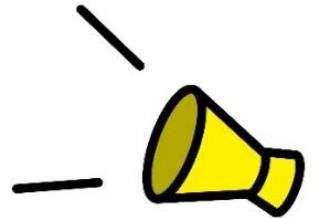




漢方クリニック&中医研鍼灸院 移転・建設プロジェクト会議スタート！！

新建設に寄せられた組合員さんの

声



「全体に関すること」

- ・漢方と鍼灸をスムーズに一緒に受診できる
- ・待ち時間が改善できる
- ・薬膳喫茶
- ・プライバシーに配慮したつくり
- ・庭でハーブ(茶)を育てる
- ・インターネット予約
- ・シャトルバスや“かけはし”を活用

「漢方に関すること」

- ・院内処方を継続してほしい
- ・ホッとする待合室に
- ・図書スペースは継続してほしい
- ・漢方の受付はバッグを置く場所がある等、優しい気遣いがある継続してほしい

「鍼灸に関すること」

- ・個室が良い
- ・ベッドは電動で間隔を広くとって欲しい
- ・感染対策に配慮して欲しい
- ・美容鍼に興味があります
- ・待合室を広くして欲しい

所長挨拶

このたび、阪神中国医学研究所附属鍼灸治療院と阪神漢方研究所附属クリニックが移転し、同じ建物に入ることになりました。東洋医学専門の施設で協力して治療が出来ることになり、長年の夢の実現にわくわくしています。

私は子供の頃、骨折や脱臼をすると近所に住むおじいさんに治してもらっていました。国家資格のようなものは持っておられなかったと思います。でも腕は確かで、中学生の時にバスケットボールで右足首を脱臼した際は魔法のような手さばきで嘘のように楽になったのを覚えています。

この様な経験からか、鍼灸治療や徒手整復のような手技だけの治療に興味を抱くようになりました。

医師として働き始めてからは、休みを利用して鍼灸治療の現場を見学したり、専門学校や中医研の先生方に鍼灸の手技を教えていただいたりし、鍼灸治療の効き目を実感してきました。鍼灸治療は様々な疾患の治療に有効ですが、急性や慢性の疼痛を伴う疾患の治療や、感染に対する抵抗力の亢進に有効です。WHO でも鍼灸治療の有効性が科学的に評価されており、疼痛の軽減、感染に対する抵抗力の亢進、身体の機能調節作用などがあるとされています。具体的には、三叉神経痛、頭痛、頸部痛、腰痛、五十肩、関節リウマチ、坐骨神経痛、胆石発作、逆子の胎位矯正、生理不順、白血球減少症、うつ病など、様々な疾患や症状に鍼灸治療が確実に有効であるとWHOで認められています。鍼灸治療の痛みに対する効果はよく知られていますが、感染に対する抵抗力を亢進する働きは殆ど知られていないのではないのでしょうか。その良い例として、ウガンダにおいて“足三里”へのお灸が結核に有効だったという研究があります。これはイギリスのモグサアフリカという団体とウガンダのマケレイ大学との協同研究です。感染に対する抵抗力を亢進するということは、新型コロナウイルス感染症に対しても有効なのではと期待しています。

中国では漢方薬も新型コロナウイルス感染症の治療に使われています。漢方、鍼灸、食養生、ワクチン等あらゆるものを利用し、みんなでコロナに立ち向かいましょう。

日頃から患者さんの自然治癒力を後押しし、西洋医学と東洋医学の良いところ取りの治療を心がけていますが、中医研と漢方クリニックの連携が強化されることで理想の医療に近づけると考えています。



阪神漢方研究所附属クリニック
伊添千寿

院長挨拶

以前、兵庫県立尼崎病院に「東洋医学研究所」という漢方と鍼灸を併設した機関がありました。大勢の患者さんが遠方からも来院され、学生や私共医療関係者も研鑽を積むことが出来る素晴らしい場所でした。そして、東洋医学に携わる者として憧れの場所でもありました。

この度、阪神漢方クリニックと阪神中国医学研究所鍼灸院が移転し同じ場所で新たに大きな第一歩を踏み出すことになりました。念願がかない、うれしさの反面、身の引き締まる思いです。

約2000年前の古代中国を起源とする東洋医学は7世紀ごろ日本に伝わったとされています。以来、「漢方医」が活躍し「医食同源」の言葉通り、先人たちの知恵と工夫で日常生活に密着した医学でした。「はり」「やいと」「あんま」などは身近な施術であり、「葛の根」「どくだみ」「せんぶり」などは広く一般的に用いられた薬草でした。生きとし生けるものが一体で、普段から養生し、調子を整えて本来備えられた自然治癒力を引き出すことを大切にしてきました。勿論、今もそれは変わることはありません。

近年では漢方薬の薬効や経穴(ツボ)への刺激について科学的解明がすすめられ、大学病院で鍼灸を取り入れた治療が行われるなど、「古いもの」「難しいもの」とされてきた東洋医学への関心が高まっています。喜ばしくもありますが、しかしまた、私たちもこれまでを顧みる時期なのかもしれません。

一時のブームや流行を徒に追うことなく、人々の暮らしの中に根付いていた「漢方と鍼灸」が皆様のより身近な存在になり、さらに現代に見合った領域を拓くことができるよう、新しいことに挑戦しなければならないのではないかと思います。この度の連携が契機となり、新しい施設での取り組みが単に「便利」だけでなく、皆様の健やかで明るい生活のお役にたてますよう、努力したいと思っております。



阪神中国医学研究所附属鍼灸院

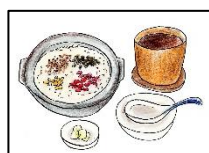
院長 渡邊 清剛

東洋医学って？

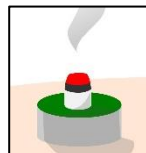
体と心をひとつのものとして捉え、その人の体質や生活習慣、体内バランスの乱れが病気の原因だと考えます。さまざまな体の反応に着目し、人の持つ治癒力を高めながら、心身のバランスを整える治療を行います。漢方薬だけの治療ではなく、鍼灸や按摩、指圧、養生などさまざまな治療法があり、多方面から総合的に体のケアをします。



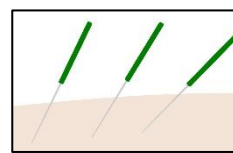
漢方薬



養生



灸



鍼



ツボ・経絡



漢方・鍼灸の知恵で夏バテを防ごう！

地域グループや支部の学習会、仲良しグループで東洋医学の知恵を学んで今年の夏を乗り切りませんか？

**夏バテ予防の「お灸」や「食事」で夏の暑さに負けない毎日を！
それでも夏バテしてしまったときは「漢方薬」が役立ちます！！**

【オススメ講座】

- ・夏を乗り切る生活の仕方(東洋医学の知恵) ・夏バテ予防のツボ(お灸)
- ・夏バテに効果のある漢方薬

※夏以外のテーマでも大丈夫です！(例)肩こり、腰痛、冷え性、不眠症について・・・

※その他、施設の見学も受付ています。漢方薬やお灸の香りをかいてみませんか？
ぜひ！この機会に東洋医学の魅力に触れてみてください！

お申込みは地域活動サポートセンターへ TEL:06-6494-8394



長洲中通 1-1-15 に
新築移転建設します

移転建設に向けての 出資・増資活動を始めました！！

移転建設に向けての目的増資運動が始まりました！

目標増資金額の「800万円」に向けて増資への声掛けを進めています！



(鍼灸院にて)



(完成イメージ)